

2021年12月1日

報道機関 各位

【最新情報】 新型コロナワクチンの有効性に関する疫学研究について
～発症予防に対する有効性の暫定結果の報告 第2報～

長崎大学熱帯医学研究所を中心とする疫学研究チームは、国内で使用されている新型コロナワクチンの有効性を評価する研究を行い、2021年7月と8月に登録したデータを用い、国内で流通しているワクチンについて、発症予防における有効性を評価し、暫定結果について、10月5日にメディアの皆様へご説明させて頂きました。

今回、9月のデータを追加した最新の結果がまとまりましたので、新型コロナワクチンの有効性に関する疫学研究の第2報として、公表させて頂きます。

なお、本データは本日開催される厚生労働省アドバイザリーボードの資料として使用され、その後公表されます。

【公表のポイント】

- 65歳以上の人に対するワクチンの有効性、接種後4ヶ月以上経過した人での有効性に加え、モデルナ社製ワクチンの有効性を新しく示しております。
- 海外とは感染状況や人種、社会環境が異なる日本において、国内でワクチンの有効性を評価することは非常に重要です。
- 研究チームでは、変異株やブースター接種によってワクチンの有効性がどのように変動するかを調査するため、長期サーベイランスを計画しています。

◆新型コロナワクチンの有効性に関する疫学研究について

<https://covid-19-japan-epi.github.io/output/index.html>

(公表時間：12月1日(水)17時)

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学熱帯医学研究所 臨床研究部門 教授 森本 浩之輔

TEL: 095-819-7842

E-mail: komorimo@nagasaki-u.ac.jp